

治療の流れ

1 回目 【検査】(約2時間)

問診と診察。静脈瘤については、超音波検査を行って、どこから、どれくらいの血液が逆流しているかを調べレーザー治療の可否を判断する。深部静脈血栓症などで深部の静脈の血流が悪かったり、詰まったりしている方には施術できない。また、大変な病気を治療中の場合は、静脈瘤治療を急ぐ必要はない。レーザー治療が可能と判断されれば、採血、レントゲン検査、心電図を取る。

2 回目 【レーザー治療】(約4時間)

治療する脚の超音波検査をし、点滴しながら治療室へ。治療そのものは30分から1時間で終了する。麻酔がとれ、自分で歩くことができるようになるまで休む。その後帰宅。「例えば午後1時ごろに病院に来ていただいて、帰宅できるのが4時とか5時ですね」と樋口医師。ストッキングを着用する。



3 回目 【検診レーザー治療】(正味約30分)

治療翌日、看護師が患者さんに電話して状態を尋ねる。問題があれば来院していただくが、問題がなければ治療から1、2週間後に来院していただき、治療した脚を超音波検査し、治療効果を確認する。なお、和白病院では片方だけの治療が4分の3、両脚が4分の1だそうだ。(0000年0月~0000年0月)

か し じ ょ う み や く り ゅ う 下肢静脈瘤

女性にやさしい レーザー治療

「下肢静脈瘤(かしじょうみゃくりゅう)」という病気をご存じでしょうか。ひざの内側などの皮膚近くにある静脈が太く浮き出たり、瘤のように膨らんだりしている病気で、静脈瘤の多くは曲がりくねっています。男性よりは女性に多くみられる病気ですがいま、そのレーザー治療が注目されています。日帰りのできることで仕事を休む必要がないうえ、治療時の傷が全くといっていいほど残らないためです。そこで、施術している医療法人財団 池友会 福岡和白病院心臓血管外科の樋口真哉医師に、レーザー治療の利点などについてうかがいました。

体への負担が少なく 日帰りで治療できます

福岡和白病院 医師 樋口 真哉氏



目に見えて分かる静脈瘤
原因は血管弁の不調

「**下肢静脈瘤とはどんな病気ですか、教えてください**」

樋口 立っている時などに、脚の表面、皮膚のすぐ下にある静脈がぼこぼこと盛り上がり蛇行している状態です。静脈が正常よりかなり太く、膨らんだ状態になり、青く透けて見えるようになります。自分で気づいている方も結構いらっしゃると思います。

「**なぜ静脈瘤は起きるんですか**」

樋口 主には静脈弁の不全です



それが長年続くと静脈の中の血液が多い状態になって血管への圧力が通常より大きくなります。それで静脈が少しずつ膨らんできてどんどん大きくなっていく。これが静脈瘤の発生メカニズムですね。

不快な症状を併発
患者の多くは女性

「**どんな自覚症状がありますか**」

樋口 足がだるい、重たいと感じたり、夜中につったりするところが多いようです。それに、むくみ、じんじんとする感じもあります。赤くはれて痛くなったり、皮膚の色が少し赤黒くなったりもしますし、それに伴って湿疹みたいなものが出てかゆくなることもあります。大きな静脈瘤が皮膚のすぐ下にあるようなケースでは潰瘍ができたります場合もありますね。

「**女性と男性と、どちらに多くみられますか**」

樋口 1対2の割合で女性の方が多いですね。つまり3人に2人は女性だということです。

「**それは、なぜでしょう**」

樋口 女性は、妊娠すると子宮が大きくなって静脈を圧迫し、それより下方の下肢静脈に「うったい」が起こります。それが女性に多いひとつの理由だろうと思いますね。

「**治療法にはどんなものがありますか**」

樋口 静脈瘤を起こしてしまつた静脈は元に戻すことはできません。皮膚のすぐ下にある静脈はなくたって健康に大きな支障はありませんので、治療の基本はその静脈を抜くか、つぶすかしてなくしてしまうんです。

負担少ないレーザー治療
手術と同等の効果

「**ではレーザー治療の方法を教えてください**」

樋口 手術よりも簡単です。点滴に使うものよりも少し大きめの針を静脈に刺し、先端からレーザーが出る細いカテーテル

を針の穴から静脈内に挿入、必要な所まで伸ばした後レーザーを出しながら手前に引いてくるんです。そうすると瞬時に血管を内部から焼いてしまいますのでその場で血管はつぶれます。レーザー治療は、太ももの付け根から足首まで通っている「大伏在静脈」、深部にある静脈から分かれ、ひざの裏側から出てアキレス腱まで伸びる「小伏在静脈」の2本が対象です。この2本が静脈瘤をつくる原因になっているんです。



カテーテルの先端から出るレーザー

「**痛みありませんか**」

樋口 普通手術で用いる全身麻酔のイメージは人工呼吸を使用し、全く意識のない状態で行うものですが、レーザー治療の場合静脈麻酔によって自分の呼吸のまま、眠つたような状態となります。静脈麻酔で行いますので眠っている間に終わります。

「**レーザー治療のメリットを教えてください**」

樋口 (静脈を抽出してしまつた手術とほぼ同等の効果を得られるだろうということですね。しかも手術に比べて体への負担が少なく、入院の必要はなく日帰りで治療できますので、治療を受けやすくなったと思います。傷跡も、針で刺すだけなので、ほとんど無傷と思っていただいていいですね。

「**再発の可能性はどうなんですか**」

樋口 手術でも再発はありますし、再発しない方もいらっしゃいます。レーザー治療も、手術とほぼ同等の結果は出せるだろうと思っっています。

危険因子

【性別】 女性に多い	【年齢】 加齢とともに、発生する頻度は高い
【遺伝】 親族に静脈瘤の患者さんがいる場合も発生頻度は高い	【立ち仕事】 教師、美容師、調理師、看護師など立ち仕事の多い人に多い